

周=周回不足/オ=周回オーバー/無=周回なし/未=未出走/タ=タイムオーバー/G=GT計測なし

出場チーム リザルト一覧

順位	No.	チーム名	燃費(km/l)
CN グループ I			
24	178	茨城県立下館工業高校自動車部A	417.222
25	143	墨工原動機部teamRED	380.087
26	119	宮城県白石工業高等学校STH-B	372.403
27	152	真岡工業高等学校機械研究部	366.215
28	142	墨工原動機部teamGREEN	365.455
29	145	足利大学附属高校自動車科A	361.072
30	141	墨工原動機部teamBLUE	335.821
31	134	都立足立工科高校A	300.205
32	163	公文国際学園 科学技術研究部 A	300.059
33	128	山形明正高等学校テクノクラブ	277.149
34	147	関東学院高等学校技術部S2	274.315
35	124	青森県立青森工業高等学校A	262.807
36	118	都立無田工科高等学校自動車部B	262.305
37	146	関東学院高等学校技術部S1	228.927
38	144	千葉県立千葉工業高等学校	221.450
39	122	新潟工業高校みゆる君第二形態	182.917
40	185	東京都立葛西工科高等学校	163.940
41	125	青森県立青森工業高等学校B	148.692
42	138	静岡県立科学技術高等学校自動車部	99.351
43	179	茨城県立下館工業高校自動車部B	95.132
44	123	新潟工業高校チーム青	0.000
45	127	三郷工業技術高校機械研究部B	0.000
46	129	山梨県立都留理工高等学校	0.000
47	131	都立多摩工科高校 自動車部B	428.373
48	132	石巻工業高等学校 ニコイチ	0.000
49	133	日本工業大学駒場高等学校 I	0.000
50	135	都立足立工科高校B	0.000
51	136	都立六郷工科高校 野島クラレン	0.000
52	137	都立六郷工科高校 チーム乙4	0.000
53	139	羽黒	0.000
54	148	町田工科マシクラ部	151.913
55	149	宮城県加美農業高等学校農業機械科	304.576
56	150	桐光学園技術工作部Aチーム	0.000
57	155	大森学園 自動車部 B	0.000
58	156	大森学園 自動車部 C	0.000
59	157	静岡吉原工高A	0.000
60	164	勝田工業高等学校Aチーム	127.785
61	165	勝工B	0.000
62	166	関東工エコランプロジェクト2	402.589
63	167	関東工エコランプロジェクト3	0.000
64	168	栃木工業高校原動機部	177.319
65	170	都立蔵前工科高校Bチーム	265.350
66	175	SMN Racing	0.000
67	182	埼玉県立川口工業高校機械研究部B	0.000
68	184	成城GARAGE	382.324
69	183	静岡県立静岡工業高校Aチーム	127.785
70	182	埼玉県立川口工業高校機械研究部B	0.000
71	184	成城GARAGE	382.324
72	184	成城GARAGE	382.324
73	184	成城GARAGE	382.324
74	184	成城GARAGE	382.324
75	184	成城GARAGE	382.324
76	184	成城GARAGE	382.324
77	184	成城GARAGE	382.324
78	184	成城GARAGE	382.324
79	184	成城GARAGE	382.324
80	184	成城GARAGE	382.324
81	184	成城GARAGE	382.324
82	184	成城GARAGE	382.324
83	184	成城GARAGE	382.324
84	184	成城GARAGE	382.324
85	184	成城GARAGE	382.324
86	184	成城GARAGE	382.324
87	184	成城GARAGE	382.324
88	184	成城GARAGE	382.324
89	184	成城GARAGE	382.324
90	184	成城GARAGE	382.324
91	184	成城GARAGE	382.324
92	184	成城GARAGE	382.324
93	184	成城GARAGE	382.324
94	184	成城GARAGE	382.324
95	184	成城GARAGE	382.324
96	184	成城GARAGE	382.324
97	184	成城GARAGE	382.324
98	184	成城GARAGE	382.324
99	184	成城GARAGE	382.324
100	184	成城GARAGE	382.324

EMC NEWS

Honda Eco Mileage Challenge Official Newspaper

2024



本田宗一郎杯 Honda エコ マイレッジ チャレンジ 2024 第43回 全国大会

【開催日】2024年10月12日(土) 練習走行 / 10月13日(日) 決勝 【燃料密度】ハイオク:0.753 / CN燃料:0.786 (2024年10月13日午前8時00分時点)
 【会場】モビリティリゾートもてぎ「オーバルコース」 【天候】晴れ / 気温18.0℃ (2024年10月13日午前8時00分時点)

“本田宗一郎杯 Honda エコ マイレッジ チャレンジ 2024 第43回 全国大会”は、今年も全国各地の中学校や高等学校、大学、短大、高専、専門学校、社会人の合計222チームがエントリーして、創造力と技術を競いました。また、今年からカーボンニュートラル燃料クラスを全カテゴリーに新設し、57チームが新しい燃料に挑戦しました。カーボンニュートラル燃料クラスの最高燃費は「チームファイアボール」が2516.072km/l、ハイオク燃料クラスの最高燃費は「水曜クラブ」が3010.105km/lの記録で両チームが本田宗一郎杯を受賞しました。また、海外からはタイより2チームが参加し、今年も多様なチームが参戦しておりました。Hondaは本大会を通じて、皆さんの夢と挑戦を後押しし、そして「ものづくりの喜び」を体験できる場として今後も継続していきますので、引き続きよろしくお願いたします。

Check! 『Honda エコ マイレッジ チャレンジ』って、どんな大会??

- テーマはシンプル
1リッターのガソリンでどれくらい走れるのか?
- 歴史ある大会!
今年で第43回目
- 海外でも開催!
タイ・中国・ベトナムでも実施される国際大会!

Honda エコ マイレッジ チャレンジは、限りあるガソリンの有用性を考え「1リッターのガソリンでどれくらい走れるのか?」をテーマとし、自由な発想であらゆる可能性にチャレンジする燃費競技大会です。規定周回数(距離)を決められた時間の中で走行し、燃料消費量から燃費を算出。燃費性能の高さを競います。

Honda Eco Mileage Challenge映像配信中!!

Honda Stories
Hondaの“今”と“これから”がわかるメディア

Honda Eco Mileage Challenge × 作業用動画

DREAMS

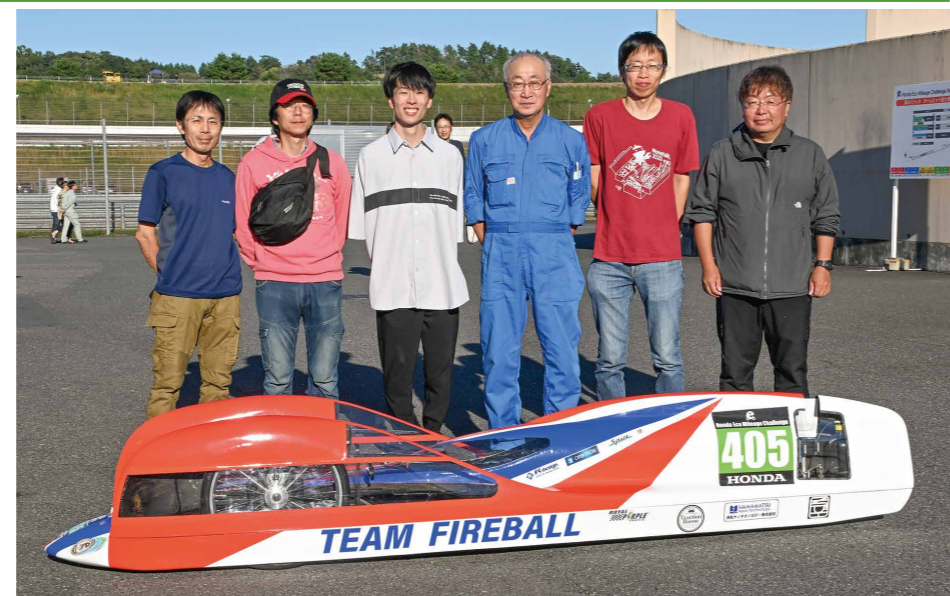
Honda Eco Mileage Challengeに挑戦するTeam Truthの映像を配信中

CN グループ IV (一般クラス) 優勝

本田宗一郎杯
チームファイアボール
(愛知県)

記録 2516.072km/ℓ

新しい挑戦としてCN燃料クラスに参加させていただきました。土曜日の練習はマシントラブルにより大幅なタイムオーバーになりながらも、ドライバーの判断で新しい燃料に合わせた走行パターンを見つけることができ、決勝の結果に繋がりました。



グループ IV (一般クラス) 優勝

ハイオク
本田宗一郎杯
水曜クラブ
(埼玉県)

記録 3010.105km/ℓ

今年はトラブル続きで、出場が厳しい状況でしたが、チーム全員が諦めず最後まで作業したことが結果に結びつきました。来年は、今年培ったチームワークを最大限に発揮し、大会4連覇とチーム記録更新を目指します。



CNグループ I (中学生クラス) 優勝

あきる野市立東中学校 Team-A
(東京都)

記録 768.633km/ℓ

今まで大会のために沢山練習してきたので、今回このような素晴らしい結果を取られて、とても嬉しく思います。来年は800km/ℓを目指してこれからも頑張りたいと思います。



CNグループ III (大学・短大・高専・専門学校生クラス) 優勝

八戸高専自動車工学部 NP号V
(青森県)

記録 1431.365km/ℓ

2周目途中から空燃比センサのエラーのため、フィードバック制御等が利用できなくなったのに、何とか完走することができたのは幸いでした。来年度はもっとセッティングを煮詰めて臨もうと思います。



グループ I (中学生クラス) 優勝

松本市立筑摩野中学校 PJ
(長野県)

記録 684.874km/ℓ

1年間かけて学び、仲間と共に作り上げたエコランカーでの挑戦は貴重な経験でした。入賞という結果が得られてとてもうれしいです。これからも仲間と共に物づくりの楽しさを大切にしていきたいです。



グループ I (中学生クラス) ものづくり賞

松本市立筑摩野中学校 PJ
(長野県)

記録 684.874km/ℓ

清水中学 featuring 社中P
(長野県)

記録 312.758km/ℓ

チームを組む所から始まり、短大や家具職人の方など、様々な人に協力していただきながら「自分たちで作れるもの」と、木材やプラダンなどを使って組み上げました。応援してくださった全ての方々に感謝いたします。



CNグループ II (高校生クラス) 優勝 & ものづくり賞 & ラップタイム賞



千葉県立下総高等学校自動車部A (千葉県)

記録 1845.600km/ℓ

CN GIIクラスで優勝できたのは、ガソリン燃料での様々なデータを残してくれた先輩方のおかげだと思います。私はドライバーですが、サポートしてくれた仲間にはとても感謝しています。優勝できてうれしいです。

このコースは微妙な勾配等が影響し、走行パターンを決めるのが非常に難しいコースです。過去のGPSデータと自作シミュレーターにより走行パターンを決め、練習走行でその評価と微調整を行って決勝に臨んでいます。

空気抵抗を左右するカウル形状作製にあたり、手作り風洞による内層形状の改良をタフトによる実験結果に基づき見える化しながら決定、その形状再現するものづくりノウハウを伝承しながら制作され、エンジンに関してもデータに基づいた燃料調整の最適化と、燃料に対する保温条件の決定と実現するための保温施策を自作で制作していたことを表彰します。

デザイン賞

デザイン賞
東京電機大学理工学部自動車部B
(埼玉県)

記録 471.227km/ℓ

私たちのマシンは前面投影面積を小さくするためにオープンホイールタイプを採用しています。また今年では、さらなる燃費向上を狙い、シンプルながらも空気抵抗を抑える工夫を随所で行い、新しい塗装を施しました。来年度こそは皆さんを驚かせる新型マシンで優勝します。

上位に食い込む車両は例外なく美しく機能的なスタイリングに包まれていて、特に東京電機大学理工学部自動車部チームの車両は「空気抵抗最小にする」という、本大会でデザインに求められる機能をシンプルに美しく表現されていました。全チームに言えることですが、来年はレース車両らしいグラフィックデザインにも期待しています!!

CN二輪車クラス 優勝

Little Cubs
(愛知県)

記録 251.488km/ℓ

鈴鹿・もてぎ大会にも参加し、全国大会に挑みましたが練習走行では走行パターンミスからタイムオーバー、綿密な擦り合わせとセッティングの見直しで2位と僅差の初代CN二輪車クラス優勝を獲得する事が出来ました。



第43回 全国大会の賞典について

賞名	対象	基準
最優秀賞 本田宗一郎杯	CN燃料クラス ハイオククラス	今大会最高燃費記録を達成したチーム
各クラス別入賞1~3位	各クラス	燃費記録
デザイン賞	全チーム	斬新なフォルム、美しいカラーリング、ユニークさといった総合的なデザインが印象的なチーム
ものづくり賞	CNグループI~III グループI~III	車両づくりの創意工夫、 独創的なアイデアを審査
ラップタイム賞		各周回のタイム差が最も小さいチーム ※1周回目を除く

グループ III (大学・短大・高専・専門学校生クラス) 優勝

長野高専 Reginetta
(長野県)

記録 1753.044km/ℓ

2019年の全国大会で優勝して以来、リタイア続きとなってしまうのですがやっと完走させて優勝まですることができました。これまでチームが行ってきた作業の結晶だと感じています。今後も更なる燃費向上を目指して改良をしていきます!



ニューチャレンジクラス 優勝

栃木県立矢板高等学校 OB
(栃木県)

記録 1658.794km/ℓ

記録更新に走行パターンを変えてみました。まだまだキャブで記録を伸ばせばと思っています。参加台数が減ってしまっていて寂しさもありますがチャレンジ有るのみ...頑張ろう!



2人乗りクラス 優勝

富士エコラン・チーム令和6
(静岡県)

記録 887.132km/ℓ

私以外は全員初めてのエコラン挑戦でしたが、どんな車を作りたいか、どんな事が出来るかやってみよう...、苦しくも楽しい物作りを味わうことが出来ました。結果もついてきてくれました。



二輪車クラス 優勝

長野高専 BKB
(長野県)

記録 264.233km/ℓ

この度、全国大会で優勝することができ、大変光栄に思います。先輩方が作り上げてくださったマシンでようやく優勝することができ、ほっとしたという気持ちが強かったです。この結果に慢心せず、よりエコなマシンを作り上げることに努力していきたいです。



グループ I (中学生クラス) ラップタイム賞

あきる野市立東中学校 Team-C
(東京都)

最大(周) 05:04.444(7)

最小(周) 04:41.017(4)

差 00:23.427

今回ラップタイム賞を取れたのは、サインボード、ストップウォッチドライバーの連携が出来た事です。ラップタイム賞ありがとうございます。



グループ III (大学・短大・高専・専門学校生クラス) ものづくり賞

MONTY (長野県)

記録 149.394km/ℓ

今年大会では、軽量化を目標にベニヤとアルミのハイブリッドマシンを製作しました。昨大会での経験から配線とまともなトラブルシューティングをしやすくなりました。無事に完走して、ものづくり賞を頂けたのは、大切な仲間たちのおかげです。

昨年の鉄フレームの完成車に対し、軽量化を目的に手作りアルミ骨格とベニヤ板の組み合わせに更にエンジン搭載レイアウト変更及び電装配線の集約により、トラブルシューティング早期化と小型化による重量約1/2化を達成したこと。また、廃材利用と自作による排気系とステアリング廻りを制作しコスト抑制と製作効率を向上させたことを表彰します。



グループ III (大学・短大・高専・専門学校生クラス) ラップタイム賞

八戸高専自動車工学部 NP号IV
(青森県)

最大(周) 05:44.600(2)

最小(周) 05:33.989(7)

差 00:10.611

今回の大会では、大きなトラブルもなく安定した走行を続けられて良かったです。来年は安定した走行に加えて、さらなる燃費向上を目指していきます。

